



ここが、姉妹都市交流スタートの地です ようこそ、大和高田市へ！

大和高田市広報情報課 山口容視子

日豪間の姉妹都市第1号の地、 大和高田市

自治体国際化協会（以下「クリア」）が行う「海外自治体幹部交流セミナー2015（シドニー事務所管内）」（以下「セミナー」）が、奈良県大和高田市で開催されました。

本市は、1963年にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州リズモー市と、日本とオーストラリア間で最初に姉妹都市提携しました。リズモー市とは、毎年高校生の交換派遣を行い、5年おきに市民訪問団を相互に派遣しています。また、姉妹都市締結のきっかけとなった高田カトリック幼稚園建設の際には、ニュージーランドの方々からも寄付をいただいたそうです。今回のセミナーに、ニュージーランドからの参加者もいらっしやることを知り、私たちは是非当時のお話をさせていただきたいと、お待ちしております。

大和高田市での日々

今回のセミナーのテーマは、①「姉妹都市提携の意義～姉妹都市交流から学ぶもの～」②「地方自治体と文化財保護」です。

52年間という姉妹都市関係が、大和高田市に何をもたらしているのか、また1,300年前奈良に都が置かれる前からの歴史を物語る遺跡との共存について、視察や意見交換を重ねました。

オーストラリアとニュージーランドからのセミナー参加者6名は、11月4日（水）、大和高田市に到着されました。セミナー参加者は、市役所到着後、吉田市長を表敬訪問。本市の歴史を説明し、さっそく市内散策へ出発。平安時代に作られた弥勒菩薩座像が納められている弥勒寺を見学しました。弥勒寺では、近隣の自治会の皆さん、^{どんご}土庫こども園の子どもたちが、旗を持って迎えてくれました。住職のはからいで、鐘をつかせていただくという体験もできました。

その後、古墳を見学していると、公園で遊んでいた小学生たちが、オーストラリアとニュージーランドから



「ハロー」「こんにちは」子どもたちの目はキラキラ輝いていました

だと聞き、集まってきました。子どもたちは、「私たちの学校は、姉妹校提携を結んでいるの」と話し始め、セミナー参加者の皆さんから記念のバッジをいただき、大喜びでした。

大和高田市内では、「オーストラリアからのお客様です」と話すと、「それは、それは。姉妹都市の・・・」と、大人も子どもにもこやかに親しげに話し始めます（「リズモー市からではないのですが、」と言う暇ありません）。

初日の夜は、大和高田・リズモー都市友好協会主催の歓迎会が催され、週末に滞在するホストファミリーとも対面しました。

翌日は、公園の一角にある「リズモーの庭」で、姉妹都市交流20周年を記念して植えた、ユーカリの木を見ていただきました。種から植えて、今や大人2人で抱えるほどの幹の太さです。また、高田カトリック幼稚園では、開園以来残るカンガルーやクッカバラなどのオーストラリアやニュージーランドの生き物の壁画を見学し、園児たちが日本茶とお菓子で、もてなしてくれました。

午後には、大和高田・リズモー都市友好協会の役員と市職員とともに、今までの姉妹都市交流について、説明や意見交換が行われました。特に、交流50年を両市が顔を合わせてお祝いしたことで、改めて両市が結びつきを強くし、次の50年を有意義なものにしようと話合ったことなどを説明しました。その後、^{せんりゅうじ}専立寺の茶室で茶道を体験、夕食には、広島焼きができあがるまでの工程を興味深く見ながら、『こて』を上手に使い、「オイシイ」と完食し、



大和高田で30年、すくすく育ったユーカリ

とても喜んでくださいました。この2日間、大和高田市内のあちらこちらで、リズモー市との交流の歴史や現状を体感していただけたのではないかと思います。

大和高田市滞在3日目は、市外へ出て、^{あすかし}明日香路を英語ボランティアガイドさんと散策しました。柿

が実り、秋の虫が鳴く日本の秋を満喫し、古代食も試食していただきました。史跡と共存しながら人々が暮らす風景を見て、セミナー参加者の一人は、「日本の暮らしには、毎日の生活の中に歴史がある」と、感想を述べられました。

その後、奈良市へ移動し、吉田大和高田市長とともに荒井奈良県知事を表敬訪問しました。数か月前にオーストラリアを訪問された知事との歓談は盛り上がり、予定の時間を超える訪問となりました。夕刻、一行は大急ぎで帰途につき、迎えにきたホストファミリーと共に、ホームステイ先へと帰って行かれました。

ホストファミリーとの休日はさまざまでしたが、8日(日)の午後は、同時期に訪日していた、リズモー市内にあるサザンクロス大学のコーラスグループ『イザベラ・ア・カペラ』のコンサートを、専立寺で、セミナー参加者の皆さん、ホストファミリー、市民のみなさん、吉田市長、クレアのスタッフらと一緒に聞きました。『イザベラ・ア・カペラ』は、来日時には、必ず本市を訪れ、コンサートを開いています。最後までホストファミリーの小さい子どもを膝に乗せ、すっかり家族になったセミナー参加者もおられ、みんなが音楽で一つになった時間でした。

最終日には、市立^{うきあな}浮孔小学校を訪問しました。授業を参観した後、児童たちの掃除を見学し(オーストラリアの小学校と一番異なるところです)、クラスに分かれて給食を体験していただきました。

日程の最後に、クレア職員の司会により、セミナー参加者、大和高田市長、大和高田市職員が、意見交換会を行いました。セミナー参加者の皆さんの所属団体、自治

体の現状、地域の文化について、とても熱心に、熱く語っていただきました。古い遺跡を保存する方法や高齢化については同じ問題を抱えていることを共有し、豊かな地域資源や自治権には、大きな違いがあることを改めて感じる機会となりました。「日本の学校から学ぶことがある」、という感想も述べられました。

最後に大和高田市がこれから取り組むゴミについての話題が時間切れになったことは、本当に残念でした。

友好の精神を受け継いで

セミナー参加者の皆さま、大和高田市にお越しいたごき、本当にありがとうございました。とても忙しい日程となってしまったこと、反省しきりでした。しかし、もっとお話したかったこと、お聞きしたかったこと、見ていただきたかったことがありました。そして何より、クレア本部、シドニー事務所のお力をお借りして、なんとか無事、セミナー参加者の皆さまをお見送りできましたことに、感謝申し上げます。

52年前にリズモー市と結んだ盟約証に『この交流、この友情は両市間のみにとどまらず、その母国日本とオーストラリアにまで及ぶであろうことを信ずる。さらにこの両市の協調が全世界の平和に貢献するであろうことを確信する』とあるように、今後も、大和高田市はこの貴重な体験を糧に、リズモー市との姉妹都市交流を進めていきたいと考えます。



笑顔ながらも、「もっとお話したい」の声があちこちで

大和高田市 奈良県北西部に位置する

面積 16.48km²

人口 6万7,442人

1963年8月7日 Lismore市と姉妹都市締結